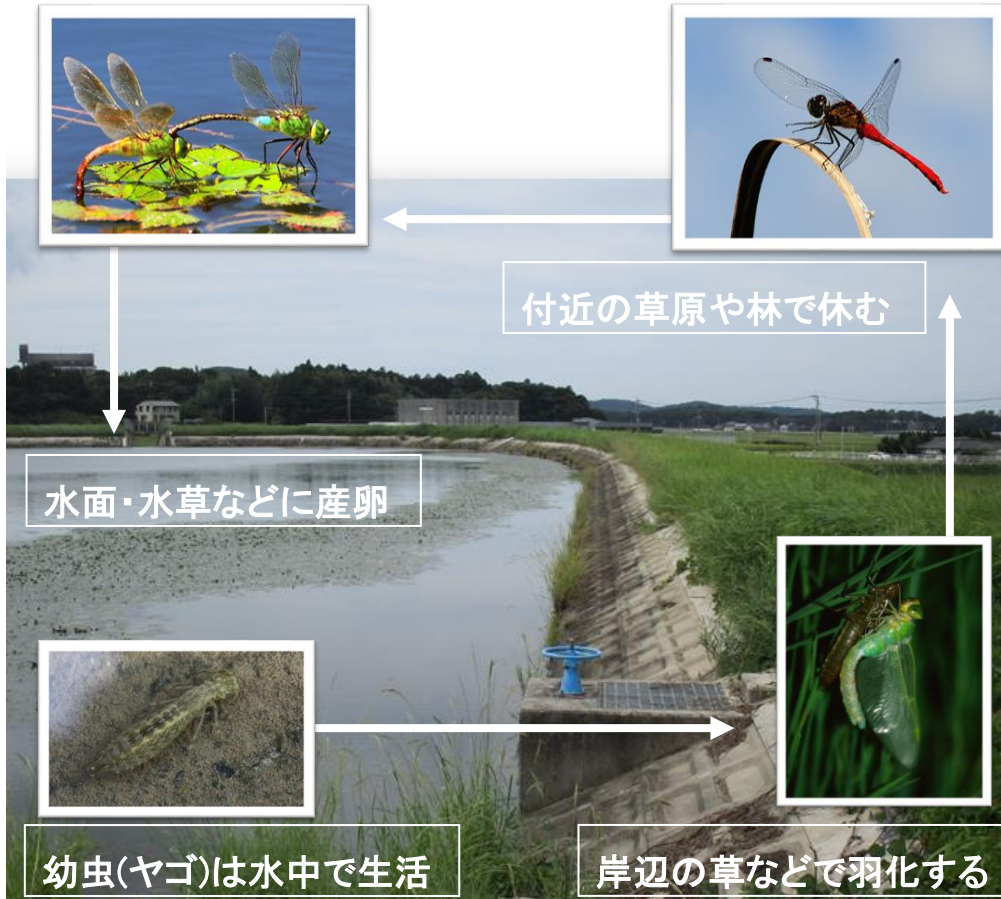


# 生き物の生息環境のつながりを保つために

生き物たちは、生まれてから一生を終えるまで、多様な自然環境を必要としながら生きています。しかし、近年、宅地化などの土地開発などにより自然環境が分断され、生き物が生息生育の場所へ移動することができなくなっています。生き物を守るため、分断された自然環境を保全・再生し、環境に「つながり」を持たせることが求められています。



付近の草原や林で休む

水面・水草などに産卵

幼虫(ヤゴ)は水中で生活

岸辺の草などで羽化する

▲ため池とその周辺にトンボが生息できる環境が揃っている。  
(※ため池は危険なので近くで遊ばないようにしてください)

## 生き物たちに 必要な自然環境

私たちの住む福津市は、里山、海岸松林、海、干潟、河川、ため池、水田といった多様なタイプの自然環境があります。その中で様々な生き物が生息しており生物多様性に恵まれたところです。

多くの生き物は、同じ場所で一生を過ごすのではなく、多様な自然環境を必要としながら生きています。例えば、トンボもその一つです。トンボは、ため池や水田などの水中や泥、水草に産卵します。ふ化した幼虫はヤゴと呼ばれ、水中を生活の場とします。成長したヤゴは、水から出て移動し、岸辺の草などにつかまり羽化します。成虫は休息場や餌

場を求めて、近隣の草原や林などに移動します。

また、カエルは水田やため池などの水の中で産卵し、ふ化して幼生(オタマジャクシ)になります。幼生期まで水中で過ごし、成体になると陸に上がって近隣の樹林や草地を生息場所とします。

このように、生き物たちは、「食料を得る」「休息をする」「繁殖をする」などの目的や、成長段階に応じて複数の異なる環境を必要とし、それらの環境を移動しながら生きています。

つまり、生息に必要な複数の自然環境が存在することと、それらを自由に移動できる環境の「つながり」があることが、生き物の生息にとってとても重要なのです。

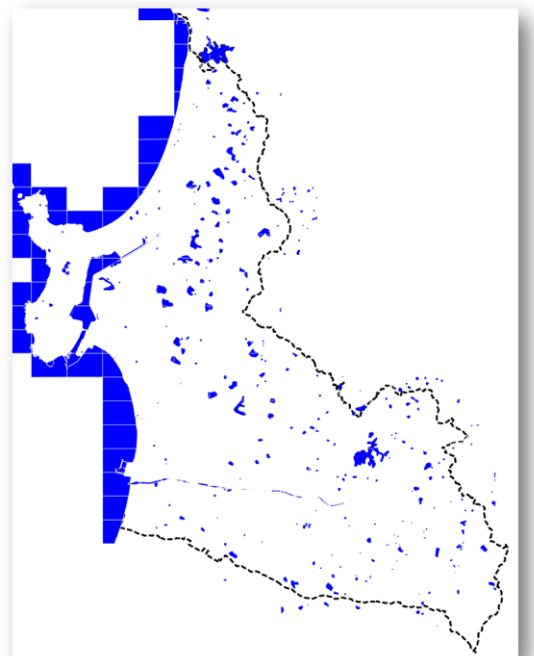
## 分断される 生き物の生息環境

しかし、近年、人間の生活様式の変化による自然環境への関わりや土地の利用による宅地化などの開発で、生き物の生息環境が失われたり、環境の「つながり」が分断され自由に移動できなくなったりしています。その結果、生き物が地域から徐々に姿を消しつつあります。

ため池もその一つです。ため池は耕作地へ水を供給するために、江戸時代に多く作られました。福津市には現在115のため池が点在していて、それ自体がトンボの重要な生息環境です。

また、ため池の配置も重要です。トンボの成虫は休息なしに約一キロメートル飛ぶことが可能で、今いるため池の環境が悪化した時、移動可能な範囲内に別のため池があれば、そこに移動して生きていくことができます。

現在は、宅地化などのため、ため池の



▲福津市のため池などの分布図  
特に農業が盛んな地域で密度が高く、トンボが移動しやすくなっている。

数は全国的に少なくなっています。福津市のため池も、数が少しずつ減少していき、管理が行き届かず、トンボが生息しにくくなってきています。このままの状況では、他のため池に移動できないトンボが孤立してしまい、環境の変化により姿を消す可能性があります。

## 私たちにできること 「つながり」を作る

このような現状に対し、私たちにできることはどんなことでしょうか。

生き物を守るために必要なのは、自然環境が孤立しないように保全、再生し、生き物が移動できるような「つながり」を持たせることです。

例えば、家の庭などに、地域に本来生育している木や花などを植えたり、水がめなどで小さな水場を作ったりすることでできます。これだけでも、生き物が移動するときの休息場や餌場となり、孤立しない環境を作ることができます。

私たち一人一人が生き物の生息場所を意識して、自分にできることをしていけたらいいですね。

### 松ちゃんとぴくん つながり?の巻

外で自然を感じながら  
食べるお弁当最高!  
本当!美味しいねえ

やっぱり  
自然とのつながりって  
大切なよね!  
本当!  
つながりって  
美味しいねえ

魚介のつまみと、生姜の  
風味、甘酸っぱさが絶妙  
でさあ...  
?

これのことだね?  
『ツナ』と『カリ』を  
サンドイッチにした  
『ツナカリ』サンド  
ちよつと食べよう?  
いらん!